

## 第6学年 国語科指導案

山陽小野田市立有帆小学校

教諭 今本 美智子

### 1. 単元名 賢治ワールドへ行こう

「やまなし」「イーハトーヴの夢」(光村図書 6年下)

### 2. 指導目標

○宮沢賢治の書いた様々な作品を読むことを通して、宮沢賢治の作品や生き方のすばらしさに触れることができる。

○様々な比喩表現や色彩表現のよさを味わい、イメージ豊かに読むことができる。

○「五月」と「十二月」の対比表現に気付き、「やまなし」にこめられた作者の思いを読み取ることができる。

### 3. 指導計画 (全15時間)

#### 第一次 作者の生き方・考え方を知る。(2時間)

・「イーハトーヴの夢」を読み取る。

#### 第二次 読みの方法を「知る」段階(3時間)

・「読み」の方法 6の観点で「注文の多い料理店」をみんなで読んでいく。

#### 第三次 読みの方法を「使う」段階(8時間)

##### (1)一人読み(2時間)

- ・音読、意味調べ
- ・好きな表現や心に残った表現(なぜ、好きなのか等)
- ・疑問 等

##### (2)内容を読み込んでいく。(6時間)

- ・構造を読み取る。(登場人物・場面・視点等)・・・1時間
- ・描写を読み取る。・・・1時間
- ・表現技法(対比、類比表現)を読み取る。・・・2時間
- ・主題を読み取る。・・・2時間(本時 1/2)

#### 第四次 読みの方法を「広げる」段階(2時間)

「やまなし」の読み方を生かして、賢治の書いた他の作品を、第一・二次で学んだ読みの観点に沿って読み、おすすめの1冊を紹介しあう。「感想」・「登場人物・設定」・「一文で表わす」・「作品のよさ、楽しさ」等の観点)

## 国語科学習指導案

1 教材名 やまなし (第三次 本時 7/8 )

2 本時の主眼 「五月」と「十二月」をそれぞれ一文で表わす活動を通して、「かわせみ」と「やまなし」に込められた賢治の思いを読み取り、作品の主題に気付くことができる。

### 3 学習過程

過程	学習活動・内容	教師の発問や指示・児童のつぶやき	教師の支援
つかむ	①今までの学習を振り返る ・「五月」と「十二月」の対比	○「五月」と「十二月」の対比について前の時間学習しましたね。この中で、どの対比がこの作品の中で一番重要でしたか。 ・「かわせみ」と「やまなし」だったな	①今までの学習の流れが分かるように、学習した足跡を掲示しておく。 ②掲示をもとに、「かわせみ」と「やまなし」の対比について全員で確認する。
／	「五月」と「十二月」をそれぞれ一文で表現してみよう。		
考える	③〈個による一人学び〉 ・○○が□□によって△△を知る話	○五月を一文で表すと、どうなるでしょうか。 ・えーっ、一文で？ ・「注文の多い料理店」でもやったぞ。 ・かわせみが入ってきて、何を知ったのかな。	③一文に表すときの基本文型をおさえ○○の部分を確認する。 ④二匹のかににとって五月での重要な出来事は何かをおさえ△△の部分を確認する。 ⑤「やまなし」を作った時の賢治の状況を想起させる。
／	④〈班での学び合い〉 班で意見を出し合う。 ・友達の意見と自分の意見を比べる。	○友達の一文を聞いて、自分の納得のいく一文を作ろう。 ・「かわせみ」にこめられた思いがよく分かる表現だ。	⑥班で意見を出し合い、それぞれについて、どう思うか意見を交換し、自分の一番いいと思う一文を書くようにする。
学び合う	⑤〈全体での学び合い〉 ・自分の考えを発表する。(五月) ・自然のきびしさ、こわさ ・死の恐怖、弱肉強食	○自分のお気に入りの一文を発表しよう。 ・「かわせみ」は、かにの兄弟にとって、死というものを教えたので～。	⑦一文を大判用紙に書き、「かわせみ」にこめられた思いを発表させる。
／	⑥「十二月」を一文で表す。(十二月) ・自然のやさしさ、恵 ・生への期待感、共生	○十二月を一文で表わしましょう。今度は、自分で考えた一文を大判用紙に書きましょう。 ・五月の「かわせみ」の時と比べると～。	⑧個人で考えた後、一文を大判用紙に書き、黒板に貼るようにする。 ⑨一文が書けない児童には、五月との対比で考えるよう促す。 ⑩一文を作った思いを全体の場で発表するようにする。
広げる・深める	⑦次時の学習を知る。	○「かわせみ」と「やまなし」の進入が重要な出来事なのに、なぜ題名は「やまなし」にしたのか、「やまなし」にこめられた思いを考えよう。	⑪次時の学習課題を知ることで、学習の見通しを持つようにさせる。
／	⑧国語日記を書く。	○国語日記を書こう。	⑫学習して、分かったこと・感想をまとめる。時間があれば、ポイントを押さえて書いている児童の国語日記を発表させる。
振り返る			

「読み」の観点

- 作品の構造を理解する。
    - ①人物設定（登場人物・中心人物）
    - ②場面設定（いつ・場所） 視点
  
  - 作品のあらすじを押さえる。
    - ③一文で表現  
 △△が ○○によって □□なる（する）話  
 中心人物 出来事 変容・変化
  
  - 作品のよさ・楽しさを味わう。
    - ④描写（情景・心理・人物）
    - ⑤表現技法（象徴・対比など）
  
  - 作品の主張をまとめる。
    - ⑥主題
- \*その作品に対する自分の思いをまとめる。（感想を書く・発表し合う）

\*10月の読書は 「宮沢賢治ワールドに行こう」

市立図書館で50冊近く宮沢賢治の童話を貸し出していただいた。〈一人平均11冊読破〉

\*家庭学習プリントにより、学習の「予習」をして、授業に臨むようにする。

	色
	イメージ

「やまなし」に出てくる色彩表現を書き出そう。

	五月
	十二月

「五月」と「十二月」のちがいを見つけよう。